

奈良県代協  
新入会員オリエンテーション  
セミナーなどを開催

奈良県代協(平尾武士 会長)は9月2日午後2時から奈良県橿原市の大和信用金庫八木支店三階会議室で新入会員オリエンテーションを開いた。まず、平尾会長が「我々は消費者の近くにいる地域密着型代理店として活動している団体です」と挨拶した後、同代協の5委員会の活動状況を報告した。



セミナーの様

続いて、日時から奈良県橿原市の大和信用金庫八木支店三階会議室で新入会員オリエンテーションを開いた。

説明したあと、提携業者によるプレゼンテーションが行われた。

セミナーでは、講師が、大手通信会社に勤務し、30歳のとき、父から奈良県天理市にある整備工場を継いでほしいとい

た。しかし、借金はあつた。しかも、1週間で新規もたらさず、5台しか入庫がなかった。赤字会社もあつた。社内を改革しようとするが、社員と衝突。父が亡くなり後継いだとき、多額の借金。「もうだれのせいにもできない。すべては自分に戻ってくる。だつたら思い切りやろう」と決意。互いが人のせいにするのではなく、みんなでするのではありませんか。みんなが会社のことを考えてやるようにした。社員には①

のだからためには仕事をしているのか、③この会社の存在意義の3つを問いかける。赤字会社から黒字会社に年商を10倍にした。現在グループ会社8社、車検や買取、保険、飲食業など22拠点、155名の従業員がいる。年間車検台数は5500台で3年後には1万台にしたいという。こうした顧客情報を「代理店のみなさんと共有し地域のお客様を守りたい」と締めくくった。